



クローバーブック
クローバーブック・ライト
取扱説明書

目次

はじめに	1
安全上のご注意	2
安全にお使いいただくために	4
液晶モニターに関するご注意	5
各部の名称	7
付属品	9
使用準備	10
◆遠方カメラの使用準備(クローバーブックのみ)	12
◆遮光カバーの取付け	12
充電方法	13
電源ランプ	14
操作方法	15
電源ボタン	15
メニュー/戻るボタン	16
拡大・縮小	17
スクロール	18
◆操作レバー使用時のスクロール速度の変更	18
◆画像の位置	19
明るさ調整	19
カラーモード	20
◆お好みカラー選択	20
コントラスト	22
照明(LED ライト)	23
音量の調整	24
画像の静止	25
画像の保存及び切り抜き保存	25
◆撮影した画像をそのまま保存する方法	26
◆撮影した画像の一部を切り抜いて保存する方法	27
※保存した画像データの消失について	28
ラインとマスク	29
位置表示	30
オートフォーカスについて	31
自動焦点固定/解除	31
遠方カメラについて(クローバーブックのみ)	32
◆遠方/鏡表示(クローバーブックのみ)	32
◆カメラ反転(クローバーブックのみ)	33
カメラの切り替え機能	35

◆クローバーブックライトの場合	35
◆クローバーブックの場合	35
A4サイズの撮影	36
メモリーおよび、データの再生、転送、削除について	37
◆市販の USB ケーブルでパソコンから画像や文書を転送する	39
◆画像をSDカードへ転送する	39
◆SD カードから本体へ転送する	41
◆保存した画像/文書を削除する	42
◆複数選択機能	43
◆保存した画像(jpg,bmp,png ファイル)や文書(txt/pdf ファイル)を再生する	44
①共通操作	44
②画像再生中に出来る事及び操作バーでの操作	45
③txt 再生中に出来る事及び操作バーでの操作	46
④pdf 再生中に出来る事及び操作バーでの操作	48
設定メニュー	50
◆基本設定ページのメニュー項目	51
①色の組み合わせを変更する	51
②傾き補正	51
③省電力	51
④画像の切り抜き	52
⑤振動	52
◆音声設定ページのメニュー項目	52
①音声設定	52
②言語設定	52
③音声ガイド	52
◆工場設定ページのメニュー項目	53
①システムリセット(初期設定)	53
②電源周波数	53
リセット	53
廃棄の際のバッテリーユニットの取外し方法	54

故障かな？と思ったら 56

製品仕様 58

お客様相談室 59

はじめに

この度はクローバーブック / クローバーブックライト(以下、本機)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本機は、据置型読書器と携帯型読書器の良いところを合わせた、新しい読書器です。

12.5インチの大型液晶を搭載し、読み書きしやすく、また分かりやすいボタンで操作のしやすい点は従来の据置型読書器そのまま、コンパクトに折りたたんで持ち運びが可能なので、家庭、職場、学習といった日常生活のあらゆる場面でご使用頂けます。

フル HD で高精細に映し出される画像は、約1.5～60倍で調整可能で、動画状態でも静止画にしても拡大してスクロールして読み進めるため、ふらついて読書酔いすることを軽減できるため、XY テーブルを無くしてコンパクトサイズを実現しました。

基本的なボタン操作に加え音声案内、又振動機能を備えたタッチパネルなどお好みに応じて設定ができるなど、様々な機能がありますが、電源を入れるとすぐに使える簡単な操作になっているため、読書器初心者から読書器を日常的に使われている方まで、幅広い方に便利にお使いいただけます。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために…
必ずお守り下さい

この「取扱説明書」の表示では、本装置を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。次の表示と図記号の意味をよくご理解いただいでから本文をお読み下さい。

	<h2>警告</h2>
<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	
	<h2>注意</h2>
<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>	

図記号の意味

	<p>名称：注意 意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。</p>
	<p>名称：禁止 意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。</p>
	<p>名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：装置を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。</p>
	<p>名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。</p>
	<p>名称：分解禁止 意味：装置を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。</p>
	<p>名称：強制 意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。</p>
	<p>名称：電源プラグをコンセントから抜け 意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。</p>

	<h2>警告</h2>
	<p>万一、装置から煙がでていたり、異臭や異音があるなど、異常状態の場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。煙などがなくなるのを確認したのち、ただちに販売店に連絡して下さい。</p>
	<p>万一、装置の内部に水、金属類などの異物が入ってしまった場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せずただちに販売店に連絡して下さい。</p>
	<p>万一、装置を落としたり、カバーなどを破損した場合には、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せず、ただちに販売店に連絡して下さい。</p>

	<h2>警告</h2>
	<p>装置から液体が漏れ出している場合は、装置に触れない。失明や火傷などの事故の原因となります。特に、液体が目に入ってしまった場合は多量の水でただちに患部を洗浄し、至急医師の診断を受けて下さい。また、液体に触れた場合や液体が染みた衣服などに触れた場合でも水道水でただちに洗浄し、医師の診断を受けて下さい。なお、これに併せてただちに販売店に連絡して下さい。</p>
	<p>引火性のガスや発火性の物質がある場所では使用しない。火災、爆発の原因となります。</p>
	<p>装置のカバー、キャビネットを外さない。感電の原因となります。内部の点検、整備や修理は販売店にご依頼下さい。</p>
	<p>装置を分解、改造しない。火災や感電の原因となります。</p>
	<p>表示された電源電圧で使用する。火災や感電の原因となります。</p>



警告



風呂場、雨や雪が降っている屋外、その他水がかかるところ、湿気の多いところでは使用しない。感電の原因となります。



露の付いた状態で使用しない。感電の原因となります。



ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルを装置の下敷きにしない。ケーブルが傷ついて火災や感電の原因となります。



ケーブルが痛んだら（芯線の露出、断線など）、すぐに使用を止め、販売店に交換を依頼する。火災や感電の原因となります。



ケーブルを無理に引っ張ったり、ねじったり、折り曲げたりしない。火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、装置や接続されたケーブルなどに触れない。感電の原因となります。



注意



必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となる場合があります。



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う。感電の原因となる場合があります。



装置を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。



ケーブルを着脱するときは、プラグ部分を持って行う。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となる場合があります。



ほこりの多い場所で使用しない。火災や感電の原因となる場合があります。
電源プラグや接続部にほこりが付着している場合は取り除いて使用して下さい。



注意



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所で使用しない。火災や感電の原因となる場合があります。



濡れた手でACアダプタ、電源プラグやケーブルを抜き差ししない。感電の原因となる場合があります。



使用中に本機の特にLEDライトや液晶モニターが熱く感じるがありますが、これはそれぞれの部品の放熱によるもので、異常ではありません。正常な状態でも、LEDライトの表面温度が約60度まで上がる場合がありますので、やけどにご注意ください。

安全にお使いいただくために



本機をはじめてご使用になる際は、バッテリーを充電してください。「充電方法」をご参照ください。



ご使用の際は、必ず 10°C～35°Cの環境でご使用ください。



湿気の多い場所、雨、その他の液体物のそばに置かないでください。また、水に入れないでください。

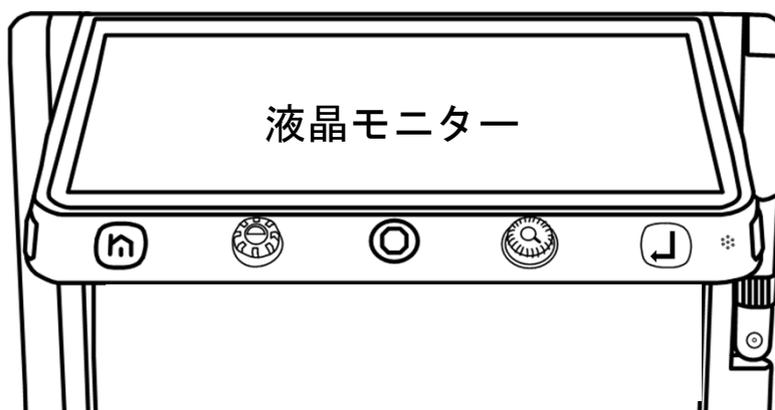


自分で修理しないでください。権限なしに修理を行うと、製品保証が適用されなくなります。修理の際は販売店へご連絡ください。



充電する際は、必ず付属のACアダプターをご使用ください。

液晶モニターに関するご注意



液晶モニターは、衝撃、圧迫、落下などで強い力が加わると割れることがあります。取り扱いには十分注意してください。なお、上記の原因による割れやキズは、保証期間中でも有償修理となります。

また、液晶モニターが割れた場合は、モニター部や内部から漏れた液体には絶対に触らないでください。液晶モニターの周囲のフレームに強い力が加わった場合も、液晶モニターが割れることがありますので、ご注意ください。

また、本機の液晶モニターはタッチパネルになっています。タッチパネルは指で操作しますが、爪では反応しませんのでご了承ください。

タッチペンでの操作は推奨しておりません。

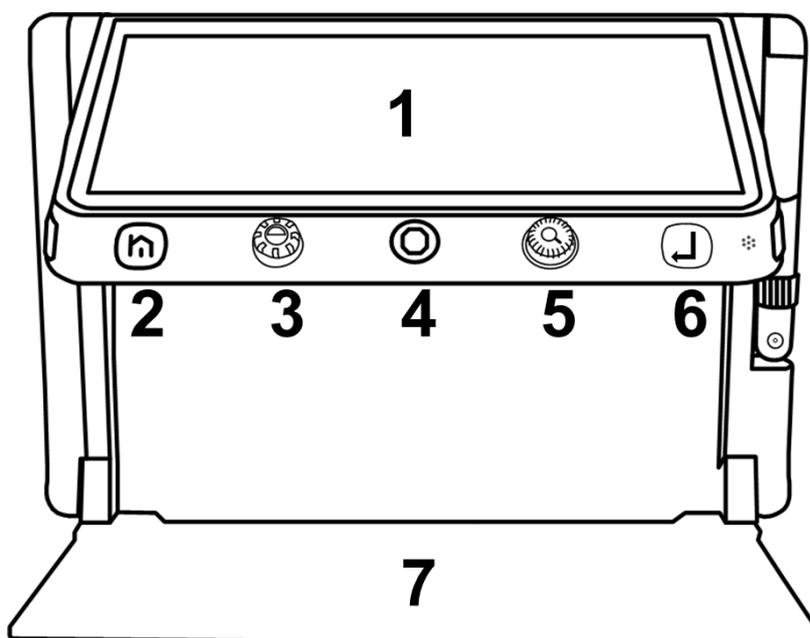
市販の画面保護シートを貼られた場合、誤動作や操作できないなどの可能性がありますので、ご注意ください。

本機の画面や指に極端な汚れがある場合、画面にタッチしても

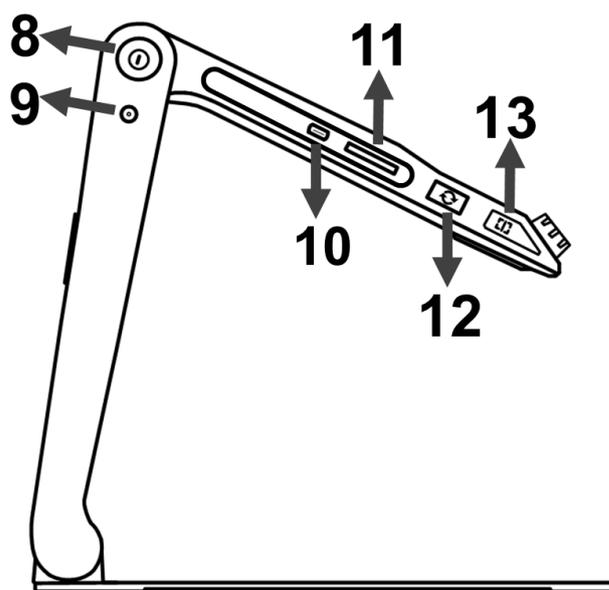
反応しない場合があります。

光沢のある原稿を見る場合、本機のライトが反射し、画面に移りこむ場合があります。

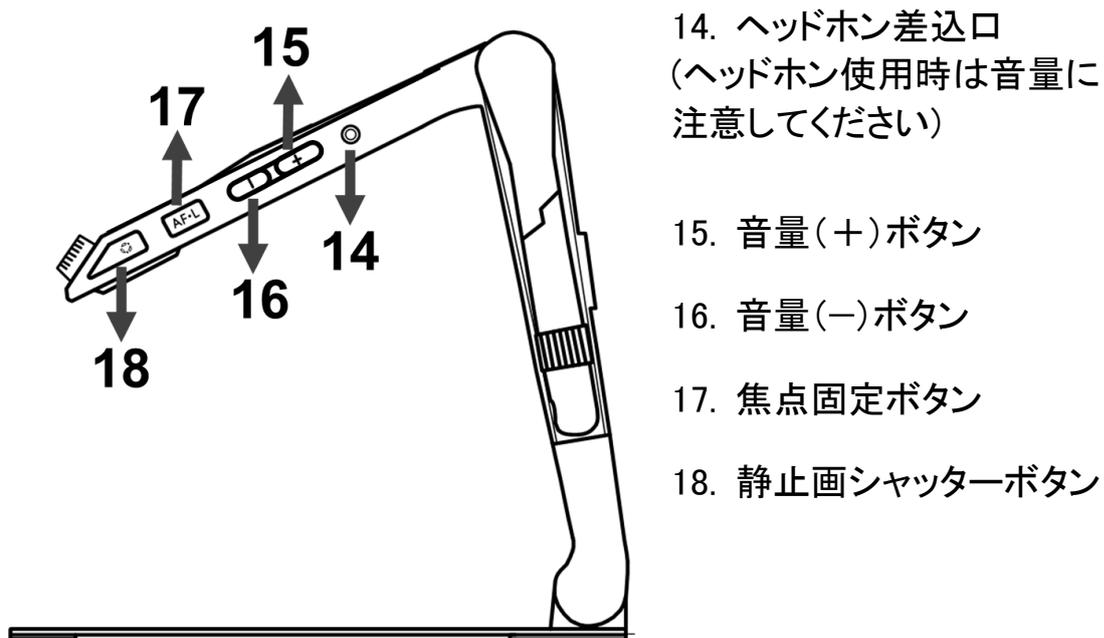
各部の名称



- 1. 液晶モニター
- 2. メニュー/戻るボタン
- 3. モードボタン
- 4. 操作レバー
- 5. 拡大/縮小ボタン
- 6. 確定ボタン
- 7. テーブル



- 8. 電源ボタン
- 9. ACアダプター差込口
- 10. USB 差込口(Type-c)
- 11. SD カード差込口
- 12. 切り替えボタン
- 13. ライン/マスクボタン



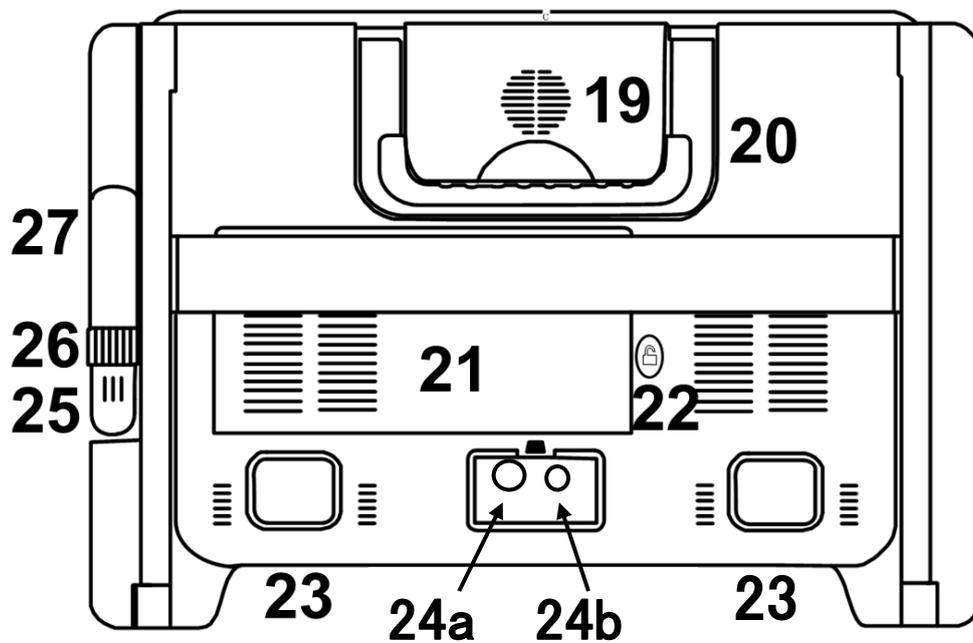
14. ヘッドホン差込口
(ヘッドホン使用時は音量に
注意してください)

15. 音量(+)ボタン

16. 音量(-)ボタン

17. 焦点固定ボタン

18. 静止画シャッターボタン



19. スピーカー

20. 持ち手ハンドル

21. バッテリーユニット

22. バッテリーロック解除
ボタン

23. LED ライト
(左右2カ所) *1

24a. 読書カメラ

24b. A4 カメラ

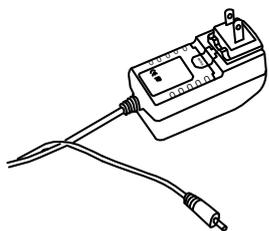
25. 遠方カメラ *2

26. 回転つまみ *2

27. カメラスティック *2

*1:23 は使用中に高温になるので注意 *2:25、26、27 はクローバーブックのみ

付属品



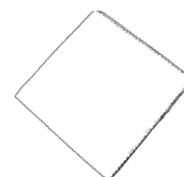
AC アダプター



遮光カバー
(専用ケースの
外ポケットに入っ
ています)



専用ケース



クリーニングクロス
(専用ケースの外
ポケットに入っ
ています)



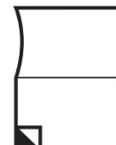
専用ケース用
ストラップ



取扱説明書



簡単マニュアル



保証書・ユーザ
登録用紙

使用準備

手順 1

本機のテーブルを下、持ち手ハンドルを上側にして机上等の平らな面に置き、持ち手ハンドルの下付近(下記写真○部)のテーブルを押さえながら持ち手ハンドルを引き上げます。



手順 2

持ち手ハンドルを引き上げると左右のアームが持ち上がり液晶モニターが見えてきます。横から見てアームがテーブルに対して直角手前ぐらいになるところまで、(液晶モニターが引き出せるくらいのスペースが出来るくらい十分に)引き上げます。



手順 3

持ち手ハンドルを戻し、テーブルを押さえたまま液晶モニターを読みやすい角度に引き上げて調整します。



◆遠方カメラの使用準備(クローバーブックのみ)

遠方モードで遠方カメラを使用する場合は、本機の使用準備後に本機を正面から見てカメラスティックを反時計回りに回転し、適切な位置に調整します。



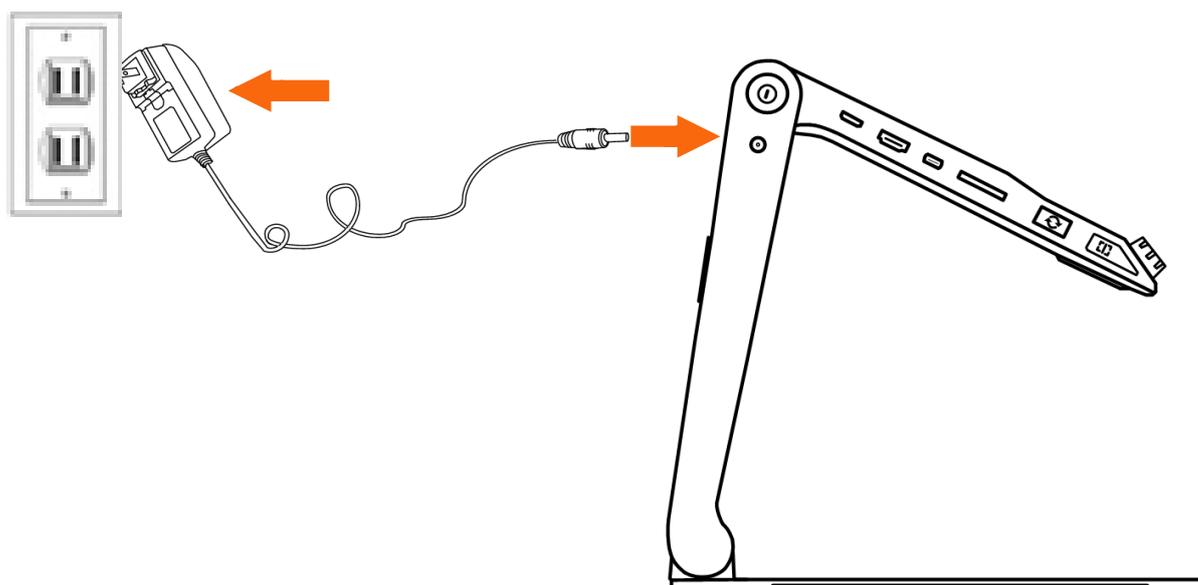
◆遮光カバーの取付け

周囲の人達がライトの光を眩しく感じる場合は、付属の遮光カバーを取付ける事が出来ます。両面テープの保護シートを剥がし、下記のように、本機の背面側に遮光カバーを貼り付けて使用します。



充電方法

付属の AC アダプターを本機の AC アダプター差込口に接続し、プラグをコンセントに接続すると充電を開始します。



注意: 充電には必ず付属の AC アダプターを使用してください。

他の AC アダプターは、充電池や本機を傷める可能性があり、最悪の場合発火する危険性があります。

充電中は、ACアダプターのケーブルが引っ張られるなどの負担がかからないように注意してください。ケーブルの断線や本機の AC アダプター差込口の破損に繋がります。又、本機から AC アダプターを外す際は、プラグの根本を持って抜いて下さい。

充電しながらの使用も可能ですが、充電しながらの使用を繰り返すことで、バッテリーに負担がかかり、バッテリーの寿命が短くなること

が予想されます。又、使用中に AC アダプターのコードが引っ張られての断線や AC アダプター差込口の破損などの可能性が考えられます。

電源ランプ

電源がオフの状態では充電すると、電源ランプは緑色に点灯し、充電が完了すると自動的に消灯します。フル充電には約4時間かかります。連続使用時間は約4～5時間です。

電源がオンの状態で充電しても、電源ランプは緑色に点灯します。

電源がオンで充電をしていない状態では、バッテリーの残量が十分あるときは緑色に点灯し、残量が少なくなると赤色に変わります。

省電力機能の待機モード中は、電源ランプは黄色に点灯します。

操作方法

電源ボタン

電源をオンにするには、電源ボタン  を約3秒間長押しします。約10秒後に振動して映像が映ります。

電源がオンの状態で電源ボタン  を押すと、バッテリーの残量を確認することができます。又、静止画、画像などを再生している時は、バッテリーの残量確認に加え画面の再生状態も確認することができます。

電源をオフにするには、電源ボタン  を約3秒間長押しすると振動がして電源が切れます。

省電力機能の待機モード中に電源ボタン  を押すと、待機モードから復帰します。

注意: 本機を完全に畳むと電源は自動的にオフになります。この時、折りたたんでから電源が切れるまでに約3秒かかります。本体の照明が直接目に入る可能性があるため、付属の遮光カバーを使用されることをお勧めします。

メニュー/戻るボタン

メニュー/戻るボタン  を約2秒間長押しすると、メニュー画面が開きます。メニューには、読書器(読書カメラ使用など)、開く(保存画像を開くなど)、設定(色の組み合わせなど)、のメニュー項目が表示されます。各項目のアイコンをタッチ、または操作レバー  で選択し、確定ボタン  を押します。

メニュー/戻るボタン  は操作バー表示機能を兼ねており、読書器(読書カメラ使用など)や開くメニューの画像の再生などの使用時は、メニュー/戻るボタン  を短く押すと、画面下部に操作バーが表示されます。上記以外で、メニュー/戻るボタン  を短く押すと、前の画面に戻ります。操作バーは、画面の一番下から上に指をスライドすることで表示する事も出来ます。

操作バーを閉じるには、5秒間何も操作しないか、メニュー/戻るボタン  を短く押す、もしくは操作バー以外の画面をタッチすると、操作バーが閉じます。

注意: 操作バーが表示中は、カラー、拡大、その他の機能が使用できない場合があります。



読書カメラ使用時の操作バー



画像再生時の操作バー

※操作レバーの例として記載していますが、遠方カメラ使用時や pdf、テキスト再生時の操作バーのアイコンに違いがあります。

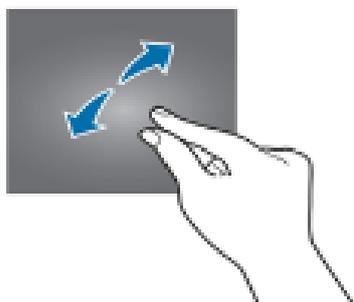
拡大・縮小

拡大/縮小ボタン  を時計回りに回すと拡大します。

拡大/縮小ボタン  を反時計回りに回すと縮小します。

拡大倍率: 約1.5～60倍(読書モードの場合)

拡大/縮小ボタン  の操作に加え、画面に2本の指を乗せ、2本の指の間を広げるように動かすと、拡大します(ピンチアウト)。その反対に、2本の指でつまむ(間を狭める)ように動かすと、縮小します(ピンチイン)。



ピンチアウト



ピンチイン

スクロール

拡大表示中は、指で画面にタッチしたまま指を動かすことでスクロールする、または操作レバー  を上下左右に動かして、用紙を動かすことなく画像内を移動して見ることができます。

※高倍率で映像の中心付近から上下左右に向かってスクロールを行うと、ピントが甘くなっていきますが、これはカメラの限界まで広く映像を映している為です。又、スクロール中に速度が若干変わる場合がありますが、これはカメラの性能上のものであり、故障ではありません。

白黒などで文字の輪郭の揺れが気になる場合は、最小倍率で画像を静止してから、拡大しスクロールを行うか、最小倍率で画像を保存し、画像を再生して、拡大しスクロールを行うと、文字の輪郭の揺れが止まります。

◆操作レバー使用時のスクロール速度の変更

操作レバー  使用時のスクロール速度の変更が出来ます。

操作レバー  を任意の方向に押し、拡大/縮小ボタン  を回すと、スクロール速度バーが表示されます。



画面上でバーの速度アイコン  をスライドするか、拡大/縮小ボタン  を回すと、スクロール速度を変更することができます。

終了するには、5秒間何も操作しない、メニュー/戻るボタン  を短く押す、確定ボタン  を押す、もしくは画面上の何もない箇所をタッチします。

◆画像の位置

画面の中心をすばやく2回タッチする、または操作レバー  を任意の方向に押しながら拡大/縮小ボタン  を押すと、画像の中心に戻ります。

画面の上下左右各辺のいずれかの中央付近をすばやく2回タッチする、または操作レバー  を同一方向に2回すばやく押すと、開始/終了位置にジャンプします。

明るさ調整

読書器(読書カメラ使用など)使用時にメニュー/戻るボタン  を短く押すか、画面の一番下から上に指をスライドし、操作バーを表示させます。

操作バー内、右側の明るさ調整バーをタッチするか、操作レバー  を使って選択します。



明るさ調整バーの明るさアイコン  をスライドするか、又は、拡大/縮小ボタン  を回して、明るさを調整します。

終了するには、5秒間何も操作しない、メニュー/戻るボタンを短く押す、もしくは操作バー以外の画面をタッチすると、操作バーが閉じます。

カラーモード

フルカラーモードは写真や地図の表示に適しています。ハイコントラストモードは前景色と背景色が異なり、文字を鮮明に読むことができます。ハイコントラストモードはあらかじめ組み合わされた所定の色となります。

モードボタンを回すと、色の組み合わせが順に表示されます。

標準のハイコントラストモードは黒背景に白文字、白背景に黒文字、黒背景に黄文字になります。

モードボタンを押す度に、フルカラーモードと最後に使用したハイコントラストモードが切り替わります。

◆お好みカラー選択

モードボタンを約3秒間長押しすると、お好みカラー選択の色の組み合わせを変更する設定画面になります。設定を変更するには、選択したい色の組み合わせをタッチするか、操作レバーで選択し、確定ボタンを押します。

ハイコントラストモード一覧(16種類の色の組み合わせ)は以下の通りです。

 黒背景に白文字	 白背景に黒文字
 黒背景に黄文字	 黄背景に黒文字
 青背景に白文字	 白背景に青文字
 青背景に黄文字	 黄背景に青文字
 黒背景に緑文字	 緑背景に黒文字
 黒背景に紫文字	 紫背景に黒文字
 黒背景に青文字	 青背景に黒文字
 赤背景に白文字	 黒背景に赤文字

※ハイコントラストモードは、最低でも1種類は選択する必要があります。

戻るアイコン  をタッチする、またはメニュー/戻るボタン  を押すと、お好みカラー選択を終了します。

参考:お好みカラー選択は設定メニューからも操作することができます。

コントラスト

通常、コントラストの比率は適切に調整されますが、手動で更に調整することもできます。

モードボタン  を押しながら拡大/縮小ボタン  を回すと、コントラスト調整バーが表示されます。

表示される調整バーは、ハイコントラストモード、フルカラーモードでそれぞれ異なります。



ハイコントラストモードの調整バー



フルカラーモードの調整バー

画面上で調整バーのコントラストアイコン  をスライドする、または拡大/縮小ボタン  を回すと、文字色と背景色のコントラストを調整することができます。

注意：モードボタン  を押してから約3秒以内に拡大/縮小ボタン  を回さないと色の組み合わせを変更する設定画面になります。

終了するには、5秒間何も操作しない、メニュー/戻るボタン  を短く押す、確定ボタン  を押す、もしくは画面上の何もない箇所をタッチします。

コントラスト調整は以下の2種類のコントラストモードグループに分かれ、それぞれ調整可能です。一方のコントラストモードグループ

で調整したコントラストは、もう一方のグループには反映されませんので、ご注意ください。

コントラストモードグループについては、以下をご参照ください。

●コントラストモードグループ①

背景が黒か青か赤の場合。

黒背景に白文字、黒背景に黄文字、青背景に白文字、青背景に黄文字、黒背景に緑文字、黒背景に紫文字、黒背景に青文字、赤背景に白文字、黒背景に赤文字。

●コントラストモードグループ②

文字が黒か青の場合。

白背景に黒文字、黄背景に黒文字、白背景に青文字、黄背景に青文字、緑背景に黒文字、紫背景に黒文字、青背景に黒文字。

照明(LED ライト)

LED ライトは、使用カメラに応じて自動でオン/オフする設定となっておりますが、筆記などの使用状況に合わせて、左右両方を同時にオン/オフ、又は左右それぞれをオン/オフする事ができます。

読書器(読書カメラ使用など)使用時にメニュー/戻るボタン  を短く押すか、画面の一番下から上に指をスライドし、操作バーを表示させます。

アイコンをタッチする、又は操作レバーを使って選択し、確定ボタンを押して、照明を調整します。



終了するには、5秒間何も操作しない、メニュー/戻るボタンを短く押す、もしくは画面上の何も無い箇所をタッチします。

音量の調整

操作音/音声の音量は、本機右側面にある音量(+)ボタンまたは音量(-)ボタンを押して調整します。音量調整機能が起動中は、画面上で音量調整バーの音量アイコンをスライドするか、または音量(+)ボタンまたは音量(-)ボタンを押して調整します。



画像の静止

じっくり読みたいときには、画像を静止することができます。静止画は拡大、縮小、カラーモードを変更し、読みやすく調整することができます。

画像を静止または解除するには、静止画シャッターボタン  を押します。

注意: 静止画シャッターボタン  は押したらすぐに指を放してください。長押しをすると反応しない場合や、画像の保存画面になる場合があります。

画像を静止し、拡大した場合、指で画面にタッチしたまま、指を動かす、又は、操作レバー  でスクロールすることができます。

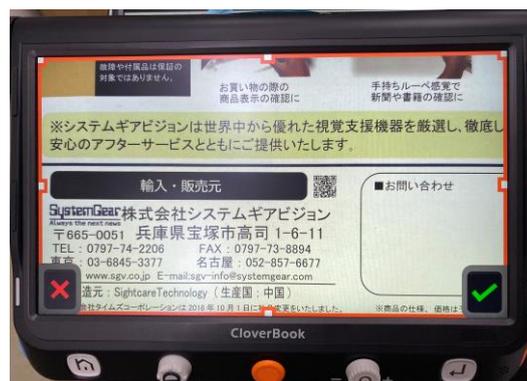
画像の保存及び切り抜き保存

保存には、撮影した画像をそのまま保存する方法と、撮影した画像の一部を切り抜いて保存する方法の2種類の方法があります。切り抜いて保存を行っても、切り抜き前の画像を見ることはできませんが、画像の切り抜きは保存後にはできません。切り抜きを行う場合は、保存前に行って下さい。

画像の保存をするには、読書器(読書モードや遠方モード使用時など)使用時に静止画シャッターボタン  を約3秒間長押しするか、静止画シャッターボタン  で一度静止画にしてから、再度静止画シ

シャッターボタン  を約3秒間長押しします。画像の切り抜き範囲を選択の確認画面が表示され、画面の4辺にオレンジのラインと左下にアイコン 、右下にアイコン  が表示されます。この状態で、画像の切り抜きをするかしないかでその後の操作方法が変わります。各保存方法の操作方法は以下の通りです。

画像の切り抜き範囲を選択画面



◆撮影した画像をそのまま保存する方法

アイコン  をタッチするか、確定ボタン  を押すと、画像保存の確認アイコン   が約3秒間表示されます。約3秒間経過すると、自動的に画像が保存され、保存されたアイコン   が約3秒間表示された後、画面は静止画に戻ります。自動保存以外に保存アイコン  をタッチするか、または確定ボタン  を押すことでも画像の保存ができます。

※設定にて、画像の切り抜きを無効にしている場合は、画像の切り抜き範囲を選択の画面を出さずに静止画シャッターボタン  を約3秒間長押しするだけで保存することができます。

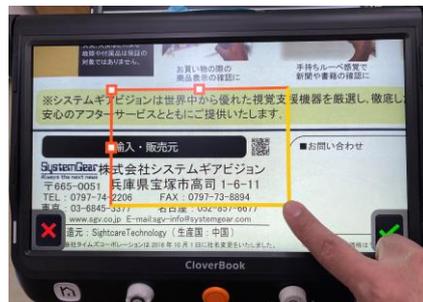
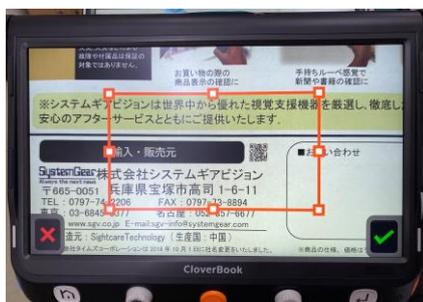
撮影した画像の保存をキャンセルする場合は、画像の切り抜き範囲を選択画面で、アイコンをタッチするか、メニュー/戻るボタンを押すと、保存をキャンセルし静止画に戻ります。

また、アイコンをタッチするか、確定ボタンを押し、画像保存の確認アイコンが表示されている間に、戻るアイコンをタッチするか、メニュー/戻るボタンを押しても、保存をキャンセルし、静止画に戻ります。

画像の保存後やキャンセル後の画面は、静止画となり、解除するには静止画シャッターボタンを押します。

◆撮影した画像の一部を切り抜いて保存する方法

画像の切り抜き範囲を選択画面表示後、拡大/縮小ボタンを回して切り抜く大きさ、操作レバーで切り抜く位置を調整します。又、オレンジラインもしくはラインの角に指をタッチしたままスクロールすることで切り抜く大きさ、切り抜く中心付近にタッチしてスクロールすると、オレンジライン全体を動かして切り抜く位置を調整する事もできます。



※拡大/縮小ボタン  を回しての大きさの調整は、縦横の比率が画面の大きさと比例したままになります。任意の大きさに切り抜く場合は、指でのスクロールで変更してください。又、画面上での切り抜く範囲の最小は、オレンジラインで囲まれた縦約3cm、横約5cm となり、それより小さく切り抜くことはできません。

切り抜き範囲が決まったら保存を行いますが、保存方法は、“撮影した画像をそのまま保存する方法”と同じですので、そちらの項目をご参照ください。

画像は本体メモリー内の画像フォルダーに保存されます。保存した画像を見るには「メモリーおよび、データの再生、転送、削除について」をご参照ください。

注意: 保存した画像の容量が最大容量(2GB 例: 読書カメラで撮影約200枚、又は、A4カメラで撮影約160枚)に達すると、容量不足アイコン  が表示されます。再生モードで、以前に保存した画像をいくつか削除してから新しい画像を保存してください。

※保存した画像データの消失について

取り扱い上の不備や本機の故障、あるいは修理によって、本機に保存された画像データが消失することがあります。保存された画像データの消失による損害については、販売店、販売元および製造元は責任を負いかねますので、予めご了承ください。

必要な画像データは定期的にSD カードにバックアップをとっていただくことをお勧めいたします。SD カードへのバックアップについては、“画像をSD カードに転送する”の項目をご参照ください。

ラインとマスク

ライン/マスクボタン \square を押すと、ライン又は、マスク機能が使用できます。ライン/マスクボタン \square を押すたびにラインやマスクに切り替わります。

ラインは、ライン表示後、ライン/マスクボタン \square を押しながら、モードボタン \odot を回すと、ラインの色を変更することができます。色はラインの時のみ変更が可能で、マスクの色は変更できません。

ラインの色は、赤、青、黄、緑、紫、グレーの6色に変更可能です。

●横ライン

ライン/マスクボタン \square を押しながら、操作レバー \blacklozenge を上下に動かすと横ラインの位置を、操作レバー \blacklozenge を左右に動かすとライン幅を変更します。

●縦ライン

ライン/マスクボタン \square を押しながら、操作レバー \blacklozenge を左右に動かすと縦ラインの位置を、操作レバー \blacklozenge を上下に動かすとライン幅を変更します。

●横マスク

ライン/マスクボタン \square を押しながら、操作レバー \blacklozenge を上下に動かすとマスクの位置を、操作レバー \blacklozenge を左右に動かすとマスク幅を変更します。

●縦マスク

ライン/マスクボタン \square を押しながら、操作レバー \blacklozenge を左右に動かすとマスクの位置を、操作レバー \blacklozenge を上下に動かすとマスク幅を変更します。

位置表示

位置表示機能を使うと、画面が一時的に最小倍率で表示されるため、読みたい箇所を探すのに便利です。

●拡大/縮小ボタン $\textcircled{\text{R}}$ を短く押すと、画像は現在の倍率から最小の倍率となり、拡大された画像の位置を表す位置ボックスが表示されます。

●位置ボックスは、画面上で指を使ってボックス内をスクロールする、または操作レバー \blacklozenge を使って移動させることができます。

- 拡大/縮小ボタン  を大きく回すと、ボックスは元の位置に戻ります。操作レバー  をいずれかの方向に押して、拡大/縮小ボタン  を押すとボックスは画面の中心に来ます。
- もう一度拡大/縮小ボタン  を短く押す、またはボックスを素早く2回タッチすると、ボックス内の画像が以前の倍率で拡大表示されます。

オートフォーカスについて

オートフォーカスは自動で機能しますが、正しく機能せずフォーカスが合っていない場合には、以下の方法で強制的にフォーカスを合わせることができます。

画面を2秒間長押しする、または焦点固定ボタン  を2秒間長押しすると、フォーカスを合わせることができます。

※A4カメラについては、カメラから約12cm～18cm までフォーカスできる固定フォーカスになる為、フォーカス合わせをする必要はありません。

自動焦点固定/解除

焦点固定ボタン  を押すと、画面の四隅に  が表示され、フォーカスが固定されます。この機能は特に筆記の際に手にフォーカスが合わずに、ペン先にフォーカスを固定するのに便利です。

もう一度焦点固定ボタン  を押すと、焦点固定が解除されます。

※A4カメラでは、自動焦点固定を使用する事はできません。

遠方カメラについて(クローバーブックのみ)

クローバーブックには、遠方カメラが付属しており、カメラスティックを立ち上げて、カメラの角度を調整することで、離れた場所にあるものなどを遠方カメラで確認することができます。

また、遠方カメラを利用して自分の顔を確認したり、手元の作業に利用したりすることもできます。

遠方カメラの詳細な使用方法については、以下をご確認ください。

◆遠方/鏡表示(クローバーブックのみ)

遠方モードでは、遠くの物を拡大して見たり、鏡では、ご自身の顔を拡大して化粧をしたり、便利に使用できます。

下記の要領でカメラの位置を設定してください。

- ①本機の右側面のカメラスティックの根本付近に指を掛け、矢印方向(本機を右側から見て反時計回り)へ回し使用する適度な位置で止めます。

※360° は回らないのでご注意ください。



- ②切り替えボタン  を操作し、カメラを切り替えます。

- ③回転つまみを左右に回し、対象物が見やすい角度に調整します。

- ④画像が斜めになるようなら、カメラスティックの上部を左右に傾け微調整します。カメラスティックの上部を左右に傾けた場合は、カメラスティックを閉じる際に本機のフレームとぶつかる可能性があるため、必ずカメラスティックを閉じる前に、カメラスティックが真っすぐの位置に戻っているかをご確認ください。
- ⑤回転つまみを時計回りに回し、カメラを自分の体側に向けると、自動的に鏡モードになり、鏡に映したときのように画像が表示されます。回転つまみを反時計回りに回して、体と反対側に向けると、自動的に遠方モードになります。



◆カメラ反転(クローバーブックのみ)

カメラ反転モードは、見たい原稿などを本機の右横に置いて読み書きしたり、カメラの下で作業したりする際に使用します。下記の要領でカメラの位置を設定してください。

- ①遠方カメラが遠方モードになっている事を確認し、カメラスティックの上部を本機正面に倒し(次ページの写真をご参照ください)、回転つまみを回し、画面に下方向が映るように回転します。

②メニュー/戻るボタン  を押す、または画面の一番下から上に指をスライドし、操作バーを表示させます。

③カメラ反転アイコン  をタッチする、または操作レバー  で選択し、確定ボタン  を押して決定します。照明が必要な場合は、操作バーの照明アイコンを操作してください。（※カメラスティックそのものに照明が付属している訳ではありません。照明(LED ライト)の項目で説明している照明を利用します。）

④カメラスティックの上部を左右に動かして見やすい角度に調整します。

注意: カメラ反転モードから、遠方モードを使用すると、上下逆の映像となりますので、操作バーのカメラ反転アイコン  をタッチして、正常な映像に戻してご使用ください。又、カメラ反転状態から回転つまみを回しても鏡モードにはなりませんので、一度遠方モードに切り替えれば鏡モードになります。



カメラの切り替え機能

切り替えボタン  の機能は、クローバーブックとクローバーブック
クライトでは機能が異なります。

◆クローバーブッククライトの場合

- 読書器(読書カメラ)使用時、切り替えボタン  を短く押すと、
メニュー内の開く(保存画像を開くなど)と、読書器(読書カメラ)
の切り替えができます。
- 読書器(読書カメラ)使用時、切り替えボタン  を長押しすると、
A4 サイズの撮影に切り替わります。

◆クローバーブックの場合

- 読書器(読書カメラ)使用時、切り替えボタン  を短く押すと、
設定状況によりカメラが下記のように遠方か鏡かカメラ反転に
切り替わります。
- もう一度切り替えボタン  を短く押すと、読書器(読書カメラ)
に切り替わります。



- 読書器(読書カメラ)使用時、切り替えボタン  を長押しすると、A4サイズの撮影に切り替わります。

A4サイズの撮影

A4全体を撮影できる機能です。静止画や画像保存にて、拡大、カラーモード変更、拡大時のスクロールができます。A4全体撮影の際には原稿は横長に置く必要があります。また、液晶モニターの角度によってはA4サイズ全体が撮影範囲に入らない場合があります。A4サイズ全体を撮影範囲に入れるためには本体のアームの角度や液晶モニターの高さを調整してください。本体のアームの角度を垂直に近づけると、テーブルに置いた A4サイズの原稿が撮影範囲に入りやすくなります。

- 読書器(読書カメラ)使用時、メニュー/戻るボタン  を押す、または画面の一番下から上に指をスライドし、操作バーを表示させて  アイコンをタッチする、または切り替えボタン  を約2秒間長押しすると、A4サイズの撮影表示になります。
- 静止画シャッターアイコン  をタッチする、または静止画シャッターボタン  を押すと、画像が静止します。
- 画像の回転は、メニュー/戻るボタン  を押すなどして、操作バーを表示し、回転アイコン  をタッチするたびに時計周りに、画像が回転します。静止画シャッターボタン  を押しても回転します。

- 拡大、カラーモード変更、拡大時のスクロールができます。
- 静止画シャッターボタン  を約3秒間長押しすると、画像の切り抜き範囲を選択画面が表示されます。
- 画像の切り抜き範囲を選択画面表示以降の保存方法や、画像の切り抜き方法については、“撮影した画像のまま保存する方法” “撮影した画像の一部を切り抜いて保存する方法”の項目をご参照ください。
- 画像の保存後は、静止画に戻ります。
- 静止画を解除するには、メニュー/戻るボタン  を2秒間長押しする、または操作バーを表示し、戻るアイコン  をタッチします。
- A4サイズの撮影を終了するには、戻るアイコン  をタッチします。

メモリーおよび、データの再生、転送、削除について

本体メモリーまたは SD カードに保存した画像や文書を閲覧することができます。SD カードを挿入していない場合は、本体メモリーのみ使用できます。

本体メモリー内の画像を SD カードに転送する事や、SD カードに保存された画像、pdf、テキストファイルを転送することができます。

保存した画像や文書を閲覧するには、まずメニュー/戻るボタン  を2秒間長押しして、メニューを表示させます。操作バーでの操作、もしくはアイコンをタッチして、開くを選択し、メモリーの選択画面に

入ります。



タッチ、または操作レバー  を左右に動かしてどちらかを選択します。SD カードが挿入されていない場合は、本体メモリーのみが表示されます。

- 開きたいフォルダーをタッチするか、操作レバー  を上下に動かしてフォルダーを選択し、確定ボタン  を押して開きます。

本体メモリーのフォルダーには、画像、パソコンからの画像、pdf とテキストがあります。SD カードのフォルダーには、画像、pdf とテキストがあります。

※画像の枚数や、pdf、テキストファイルの総数が増えると、データ読み込みに時間がかかる為、各フォルダーを開くのに時間がかかる場合があります。

※pdf ファイルの容量について、総容量 ÷ ページ数 = 15メガ未満のデータだと開くことは出来ますが、総容量に対して1ページ辺りの平均が15メガ以上だと、OPEN ERROR となり開くことができません。

例) 総容量44メガ ÷ ページ数3 ÷ 1ページの平均14.66メガ
(開きます)

総容量44メガ÷ページ数2=1ページの平均22メガ(OOPEN
ERROR)

※pdfとテキストの画面表示順について、両方のファイルが混在している場合、画面表示では全てのテキストのファイルが優先(上側に表示)され、pdfファイルはその後に表示されます。

◆市販の USB ケーブルでパソコンから画像や文書を転送する

市販のUSBケーブル(本機側 USB 差込口は Type-c)を使用してパソコンから画像や文書を転送することができます。パソコンに本機を接続すると、本機の画面にパソコンと接続されたアイコンが約2秒表示され、パソコン側では本機を USB ドライブとして認識します。

転送は、本機の USB ドライブへコピーペーストで行い、画像(ファイル形式 jpg、bmp、png)は、“パソコンからの画像”へ、文書(ファイル形式 txt、pdf)は、“pdf とテキスト”に自動で振り分けられ保存されます。なお、パソコンから本機へ転送することはできますが、本機からパソコンへ直接取り込むことはできませんので、一度 SD カードへ転送してから、パソコンへ取り込んでください。

◆画像をSDカードへ転送する

SDカードを挿入して本体メモリーの画像を転送することができます。本体メモリーの画像アイコンをタッチするか、操作レバー  で選択し、確定ボタン  を押して開き、転送する画像をタッチして選択

するか、操作レバー  で選択します。選択している画像は、オレンジの四角の枠が付いている画像になります。画像一覧画面の左側の SD カードアイコン  をタッチする、または静止画シャッターボタン  を押すと画像が転送されます。転送が完了すると、SD カードへの転送完了マーク  が約 2 秒表示されます。

SD カードに画像が転送されると、SD カード内に「PIC_EXPORT」というフォルダが作成され、そのフォルダ内に画像が保存されます。

SD カードアイコン  を約 3 秒間長押しする、または静止画シャッターボタン  を約 3 秒間長押しすると、全ての画像を SD カードに転送する為の確認アイコン  が画面中央に表示されます。全ての画像を転送する場合は、右側の SD カードアイコン  を、キャンセルする場合は、左側の戻るアイコン  をタッチします。転送が完了すると、SD カードへの転送完了マーク  が約 2 秒表示されます。

※切り抜きを行った画像は、切り抜き後の画像が SD カード転送されます。切り抜き前の画像を転送する事や、SD カード内の画像再生において、切り抜き前の画像、切り抜き後の画像を切り替えることは出来ませんので、ご了承ください。

複数選択機能を使用すると、一度に複数の画像を転送することができます。(複数選択機能の項目をご参照ください。)

◆SD カードから本体へ転送する

SD カードの画像や pdf、テキストファイルを本体のメモリーに転送することができます。データにより、下記の本体メモリーのフォルダへ転送されます。

SD カードの画像・・・本体メモリーのパソコンからの画像へ

SD カードの pdf とテキスト・・・本体メモリーの pdf とテキストへ

※同じデータを転送すると、コピーとして転送され、同じデータが保存されていますので、注意してください。

SD カードの画像アイコンをタッチするか、操作レバー  で選択し、確定ボタン  を押して開き、転送する画像をタッチして選択するか、操作レバー  で選択します。選択している画像は、オレンジ四角の枠が付いている画像になります。画像一覧画面の左側の SD カードアイコン  をタッチする、または静止画シャッターボタン  を押すと画像が転送されます。転送が完了すると、本体への転送完了マーク  が約 2 秒表示されます。

本体メモリー内のパソコンからの画像と pdf とテキストにデータに転送されると、本体メモリー内に「PIC_SD_IMPORT」と「DOC_SD_IMPORT」というフォルダが作成され、そのフォルダに該当データが保存されます。(このフォルダを確認するにはパソコンに接続する必要があります。)

「PIC_SD_IMPORT」・・・画像が保存されています。

「DOC_SD_IMPORT」・・・pdf とテキストが保存されています。

SD カードアイコンを約3秒間長押しする、または静止画シャッターボタンを約3秒間長押しすると、全ての画像又は、ファイルを本体へ転送する為の確認アイコンが画面中央に表示され、各データの右下にオレンジ色の小さいボックスが表示され、チェック✓が入ります。全ての画像又は、ファイルを転送する場合は、右側のSDカードアイコンを、キャンセルする場合は、左側の戻るアイコンをタッチします。転送が完了すると、本体への転送完了マークが約2秒表示されます。

複数選択機能を使用すると、一度に複数の画像又は、ファイルを転送することができます。(複数選択機能の項目をご参照ください。)

◆保存した画像/文書を削除する

画像や文書を削除するには、メニューの開くから画像などの各フォルダーを開き、画像一覧や文書一覧画面において、削除したい対象物を選択し、ゴミ箱アイコンをタッチする、またはライン/マスクボタンを押します。削除対象物の上にゴミ箱マークが表示され、もう一度画面左下のゴミ箱アイコンをタッチする、またはライン/マスクボタンを再度押すと削除されます。誤って削除することを防ぐために、削除対象ファイル上にゴミ箱マークが表示されただけでは削除されません。その他のボタンや画面上をタッチすると削除をキャンセルします。

各フォルダーを開き、画像一覧や文書一覧画面において、ゴミ箱アイコン 、またはライン/マスクボタン  を約4秒間長押しすると、開いているフォルダーのすべての画像を削除する為の大きなゴミ箱マーク  が画面中央に表示され、もう一度画面左下のゴミ箱アイコン  をタッチする、またはライン/マスクボタン  を再度押し、開いているフォルダーのすべての画像を削除します。誤って削除することを防ぐために、画面中央にゴミ箱マークが表示されただけでは削除されません。その他のボタンや画面上をタッチすると削除をキャンセルします。

複数選択機能を使用すると、一度に複数の画像を削除することができます。詳しくは複数選択機能の項目をご参照ください。

◆複数選択機能

各フォルダーの画像一覧や文書一覧において、各画像や文書を長押しする、または確定ボタン  を長押しすると、複数選択が機能します。

複数選択が機能すると、各画像や文書の右下に小さいボックスが表示されます。選択したい画像や文書をタッチする、または操作レバー  で選択し、確定ボタン  を押し、ボックスがオレンジ色になり、チェック  が入ります。

チェック  が入った画像や文書を一括で削除する場合はゴミ箱アイコン  を、SD カードに転送する場合は、SD カードアイコン

をタッチします。画面の中央に、戻るアイコンと選択されたアイコン（  もしくは  ）が表示されます。実行するにはもう一度選択するアイコンをタッチします。複数選択画面に戻るには、戻るアイコン  をタッチするか、メニュー/戻るボタン  を押します。尚、SD カードに転送できるのは画像のみとなりますのでご了承ください。

複数選択機能を終了するには、画像や文書を長押しするか、左上の戻るアイコン  をタッチすると、またはメニュー/戻るボタン  を押すと複数選択を終了します。

◆保存した画像(jpg,bmp,png ファイル)や文書(txt/pdf ファイル)を再生する

①共通操作

本機で撮影し保存した画像やパソコンから本機へ取り入れた画像や文書、SD カードの画像や文書が再生できます。

メニュー画面から、開くをタッチして開きます。

本体メモリーか、SD カードをタッチするか、操作レバー  で左右に押しして選択します。画像、パソコンからの画像、pdf とテキスト、をタッチして開くか、操作レバー  の上下操作で開きたいフォルダーを選択し、確定ボタン  を押すと、画像一覧か文書一覧が開きます。

再生したい画像や文書をタッチして選択し、もう一度タッチすると再生されます。(すでに選択され強調表示されている画像は1回のタッチ操作で再生されます)操作レバー  の上下操作で開きたい画像や文書を選択し、確定ボタン  を押して再生することもできます。

画像や文書の一覧において、一度に表示できるのは4つまでですが、保存画像や文書が5つ以上あり、ページを移動したい場合は、操作レバー  を上下に操作するか、画面右側のスライダーをタッチして上下に操作するか、スライダーの上下にある△▽をタッチすると上下に移動できます。

参考: 一覧画面では、切り替えボタン  を短く押すと、読書器(読書カメラ使用など)になります。

再生中はメニュー/戻るボタン  を押して操作バーを表示し、さらに操作することができます。

②画像再生中に出来る事及び操作バーでの操作

画像再生中は、拡大/縮小の倍率変更(ピンチアウト/ピンチインも可能)、カラーモードの変更、スクロール操作が可能です。

操作バーを表示すれば、下記の操作が可能です。別の画像を再生するには、操作バーの  /  のアイコンをタッチするか、操作レバー  を動かして確定ボタン  を押すか、もしくは切り替えボタン  や焦点固定ボタン  を押す方法があります。

最初または最後の画像に移動するには、 /  のアイコンをタッチする、または操作レバー  を  /  へ動かし確定ボタン  を押します。

画像を回転するには、回転アイコン  をタッチする、または操作レバー  を動かし確定ボタン  を押します。

戻るアイコン  をタッチする、またはメニュー/戻るボタン  を長押しすると、画像の一覧画面に戻ります。

注意: 本体メモリー内の画像の再生について、回転操作をした画像については、再生終了後、最後の回転状態で保存されます。

又、本体メモリー内の画像の再生については、保存時に切り抜いて保存されている場合は、操作バーと同時に表示されるアイコン  をタッチすると、切り抜き前の画像を確認することができ、アイコン  をタッチすると、切り抜き後の画像に戻ります。この切り替えができるのは、本体メモリー内の画像のみで、SD カードに転送された画像は、切り替えることができませんので、ご了承ください。

③txt 再生中に出来る事及び操作バーでの操作

txt の再生においては、お好みの倍率(1倍～約5倍＝約9ミリ、25ポイント～約45ミリ、127ポイント)と、カラーモードを変更することができます。倍率変更においては、ピンチアウト/ピンチインでも変更できます。

ページ内をスクロールするには、画面の中央付近をタッチしたまま上下に指を動かすか、画面右側のスライダーをタッチしたまま上下に動かす、あるいは操作レバー  を上/下に操作します。

注意:txt 再生時の操作レバー  でのスクロールは、スクロール速度を変更することができません。

操作バーを表示すれば、下記の操作が可能です。次のページを再生するには、操作バーの  /  のアイコンをタッチするか、操作レバー  を動かして確定ボタン  を押すか、もしくは切り替えボタン  や焦点固定ボタン  を押すと、次ページやページを戻ることができます。

※注意:ページについては、本機側で自動でページを区切りますので、転送元とのページは一致しません。本機側で1ページ以内となるものはページ送りをすることはできません。又、txt 表示について、文字間などパソコン画面上とは異なる表示となります。

最初または最後のページに移動するには、 /  のアイコンをタッチするか、または操作レバー  を  /  へ動かし確定ボタン  を押します。

戻るアイコン  をタッチする、またはメニュー/戻るボタン  を長押しすると、文書一覧画面に戻ります。

④pdf 再生中に出来る事及び操作バーでの操作

pdf の再生は、拡大/縮小の倍率変更(ピンチアウト/ピンチインも可能)、カラーモードの変更、スクロール操作が可能です。

操作バーを表示すれば、下記の操作が可能です。

次のページを再生する又は、前のページに戻るには、操作バーの  /  のアイコンをタッチするか、操作レバー  を  /  へ動かして確定ボタン  を押すか、切り替えボタン  や焦点固定ボタン  を押すと、次ページやページに戻る事ができます。

最初または最後のページに移動するには、 /  のアイコンをタッチする、または操作レバー  を  /  へ動かし確定ボタン  を押します。

pdf アイコン  をタッチするか、または操作レバー  を  へ動かして確定ボタン  を押すと、txt モードに切り替わり、テキストのみが表示されます。

注意: 1) pdf モードから txt モードへ切り替えた場合、画面表示において、文字列の表示順が正常に表示されず、後の行が先に表示される場合があります。これは、pdf の作成上に依存する場合などが考えられます。例えば、ワードから pdf を作成した場合で、ヘッダーやフッターに文字がある場合、この文字が txt モードでは 1 行目になる場合があります。

注意:2)スキャナーなどから取り込んだ pdf ファイルは、正常にテキスト表示ができない場合があります。

txt モードでは、上記の操作バーの操作に加え、txt ファイルの再生の操作もできます。“txt 再生中に出来る事及び操作バーでの操作”をご参照ください。

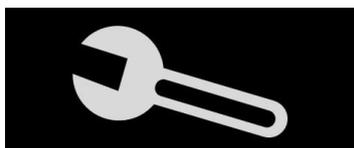
pdf に戻すには、操作バーの txt アイコン  をタッチするか、または操作レバー  を  へ動かして確定ボタン  を押すと、pdf 表示に戻ります。

文書一覧に戻るには、戻るアイコン  をタッチする、またはメニュー/戻るボタン  を長押しすると、文書一覧に戻ります。

txt モードから文書一覧に戻るには、一旦 pdf に戻す必要があります。その後、上記操作の、戻るアイコン  をタッチする、またはメニュー/戻るボタン  を長押しすると、文書一覧に戻ります。

設定メニュー

メニュー/戻るボタン  を約2秒間長押しし、メニュー画面を開きます。設定メニューを開くには、設定をタッチするか、操作レバー  を右に押し設定を選択し、確定ボタン  を押して確定します。設定メニューには3つのページがあり、画面上部に以下のアイコンが表示されます。設定メニューを開くと、基本設定ページが表示されます。



基本設定ページ



音声設定ページ



工場設定ページ

- タッチする、または操作レバー  を左右に操作してページを選択します。
- タッチする、または操作レバー  を上下に操作してページ内の変更したい項目を選択し、確定ボタン  を押して確定します。各項目の右側のマーク > がある項目は次のページへ移動します。
✓ マークのある項目は、その項目が有効ということです。×に変更すると、無効になります。

◆基本設定ページのメニュー項目

①色の組み合わせを変更する

タッチするか、操作レバー  で選択し、確定ボタン  を押すことにより設定できます。カラーモードの項目のモードボタン  を約3秒間長押しすると、お好みカラー選択の設定画面になる内容と同じです。色の組み合わせについては、カラーモードのハイコントラストモード一覧(16種類の色の組み合わせ)をご参照ください。

②傾き補正

読書カメラ及びA4カメラ使用時に画面に映る対象物がカメラの角度により、手前から奥に向かって細くなっていくような、上下の傾きを補正する機能です。画面の角度を変更する際に生じる歪み(画面の上側と下側では倍率が違う)を自動で補正します。但し、角度によっては補正しきれない場合があります。無効にすると、補正を解除します。

③省電力

約5分間何も操作しないと待機モードになり、約10分経過すると自動的に電源がオフになる機能です。待機モード中は、画面とLEDライトが消え、電源ランプは黄色に点灯します。待機モード中に電源ボタン  を押すと待機モードから復帰します。無効にすると、電源ボタン  で電源を切らないと、電源が切れません。

※省電力有効時において、周囲の光りなどの使用環境や本機のオートフォーカスなどの影響により、待機モードに入りにくい場合があります。

④画像の切り抜き

画像の保存時に切り抜きを有効にするか無効にするのかを選択できます。

⑤振動

画面のタッチ操作の振動を有効にするか無効にするのかを選択できます。電源オン、オフ時の振動は無効に出来ません。

◆音声設定ページのメニュー項目

①音声設定

女性音声または男性音声から選択できます。

②言語設定

お好みの言語を選択できます。

③音声ガイド

操作や状態を音声でお知らせする機能で有効にするか無効にするのかを選択できます。

◆工場設定ページのメニュー項目

①システムリセット(初期設定)

工場出荷時の状態に戻すことができます。ただし、保存された画像や文書は削除されません。

システムリセットをタッチすると、画面中央にアイコン   が表示されます。左側のアイコン  をタッチするとシステムリセットを中止します。右側のアイコン  をタッチするとシステムリセットを実行し、システムリセットが完了すると、電源がオフになります。

システムリセットは、倍率:最小、カラーモード:フルカラーモード、ハイコントラストモード:黒背景に白文字、白背景に黒文字、黒背景に黄文字、画面の明るさ:最大、使用カメラ:読書、傾き補正:有効、省電力:有効、画像の切り抜き:有効、振動:有効、音声設定:女性、言語設定:日本語、音声ガイド:有効、電源周波数:60Hzです。

②電源周波数

ご使用の地域に応じて50Hz および60Hz をご使用いただけます。

リセット

動作不良や通常終了できない状態になった場合は、電源ボタン  と音量(+)ボタン  と音量(-)ボタン  を同時に押してください。本体がリセットされ、電源がオフになります。

廃棄の際のバッテリーユニットの取外し方法

本機を廃棄する際には、お住いの自治体の規則に従い廃棄してください。バッテリーユニットを取り外す必要がある場合は、以下の手順に従い取り外してください。バッテリーを取り外して保管することは大変危険ですので決して行わないでください。バッテリーが消耗しバッテリーユニットの交換が必要になった場合は、販売店または巻末に記載しております、お客様相談室にお問い合わせください。

バッテリーユニットの取り外し手順は以下の通りです。

- ①ACアダプターを本機から外し、電源を切り、写真のように、液晶モニターが下になるように裏返します。

※裏返し時、液晶モニターの傷や破損に注意してください。



②液晶モニター背面のバッテリーロック解除ボタンを押しながら、くぼみに指を入れ、バッテリーユニットを引き上げ、外します。



故障かな？と思ったら

● 電源が入らない

- AC アダプターを接続してください。
- バッテリーを充電してください。

● 画面が黒いまたは白い

- テーブルに何も置かれていない場合は、画面は黒または白になる場合があります。
- 倍率が高すぎると文字がないところが映っている可能性がありますので倍率を調整してください。
- カラーモードを変更してください。
- コントラストを変更してください。
- 本体を再起動してください。
- 本体をリセットしてください。

● 画像が変わらない

- 画像を静止または再生中は、画像は変わりません。
- 本体を再起動してください。
- 本体をリセットしてください。

- 画面にしみやごみのようなものが映る

- 明るさを調整してください。
- 液晶モニターとカメラをクリーニングクロスで軽く拭いてください。

- ピントが合わない

- 焦点固定がかかっていないか確認してください。
- テーブルの上で手を動かして、ピントが合うよう調整してください。
- 画面を2秒間長押しし、フォーカスを合わせてください。

- その他

- システムリセットしてください。
- 本体をリセットしてください。

問題が解決しない場合は、お近くの販売店もしくは巻末に記載しております、お客様相談室にお問い合わせください。

製品仕様

● 液晶モニター:	12.5 インチ IPS 液晶タッチパネル、解像度: 1920 x 1080 ピクセル
● カメラ:	読書:フル HD:解像度 3840X2160 ピクセル 遠方:フル HD:解像度 3840X2160 ピクセル (クローバーブックのみ) A4:フル HD:解像度 3000X2250 ピクセル
● 倍率:	読書:約 1.5 倍～60 倍(倍率は表示角度により変化します) ピント:カメラから約 10cm～無限大 遠方:(クローバーブックのみ)カメラと被写体との距離により変化。 ピント:カメラから約 30cm～無限大、鏡モード/カメラ反転モード使用時は、カメラから約 10cm～100cm A4:約 0.7 倍～16 倍(倍率は表示角度により変化します) ピント:カメラから約 12cm～18cm
● カラーモード:	フルカラー、白黒・白黒反転などハイコントラストモード全 16 種類
● 画面の明るさ:	無段階に調整可能
● 照明:	LED ライト左右それぞれオンオフ可能
● コントラスト:	ハイコントラストモード調整可能
● 保存:	本機での撮影保存分:2GB(例:A4カメラで撮影約 160 枚又は、読書カメラで撮影約 200 枚保存可能)PC から本機への保存分:900MB
● ファイル形式:	画像: jpg,bmp,png 文書: pdf,txt
● バッテリー:	リチウムイオン 連続使用時間: 4～5 時間(画面の明るさや使用環境で変化します) 充電時間: 約4時間
● AC アダプター:	入力: 110-240V 出力: 12V/3A
● 外形寸法:	折り畳み時:横約 378X 縦 262X 高さ 40mm 使用時:横約 378X 縦 262X 高さ 262(400)mm ※(400)はクローバーブックの遠方カメラ使用時の高さ、使用時の寸法は表示角度により変わります。
● 重さ:	クローバーブック:約 2460g クローバーブックライト:約 2420g

お客様相談室

フリーダイヤル： 0120-886-610

受付時間： 平日 9:00～12:00

13:00～17:30（土曜・日曜・祝日は休み）

製造元： Sightcare Technology CO., LTD

輸入販売元： 株式会社 システムギアビジョン

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 1-6-11

TEL: 0797-74-2206 FAX: 0797-73-8894

URL: <http://www.sgv.co.jp>

E-Mail: sgv-info@systemgear.com